



Title	『懐徳』 (1号~50号) 総目次
Author(s)	
Citation	懐徳. 1986, 55, p. 1-10
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90670
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『懷徳』（1号～50号）総目次

1号（大13. 7）

発刊の辞

- 永田 仁助 祝 辞
松山 直蔵 祝 辞
西村 時彦 堂友会の成立を賀して
松山 直蔵 藤樹先生学問の骨髄
辜 鴻銘 支那文明の復興と日本
懷徳堂堂友会記事
小沼 量平 平野郷舎翠堂の旧址を視る
小沼 量平 冬季茶話会・春季探勝会
岡田 玄碩 末吉家訪問
小沼 量平 詩仙堂に遊ぶ
堂友会員名表
衆 報

2号（大14. 2）

碩園先生追悼録

序

碩園西村先生の略歴

碩園先生の面影

(1)老媪物語 (2)甲午朝鮮陣之序

(3)水戸遊紀 (4)南島偉功伝の末節

碩園先生懷徳堂重建当時の講演「懷徳堂の
由来と将来」

碩園先生著述目録

碩園先生旧蔵楚辭類書目

追悼本録（12頁参照）

故西村先生追悼祭並告別式記録

碩園先生追悼録編輯日誌

大正14年度懷徳堂講義講演

3号（大14. 8）

- 千賀鶴太郎 国体の擁護
稲東 猛 近世大阪の絵画
松山 直蔵 天理人欲説の淵源について
松山 直蔵 周易程伝復卦講義
大正13年懷徳堂記念会事業概要
大正13年懷徳堂記念会恒祭
大正14年東山春宴
大正14年開講式
堂友会秋季探勝会・同定期総会・
冬季茶話会・同春季探勝会
懷徳堂記念会記事
懷徳堂同人会近況
名誉会員并新入会員
会員消息
懷徳堂第9年1期講義講演日誌
会員住所

4号（大15. 5）

- 王 国維 最近二三十年中中国新発見の学
問（上）
今西 茂喜 始皇本紀を読み一坑儒史実の
一説に及ぶ
稲田 稷 教育と進修に就て
阪田 広吉 所 感
林田 炭翁 我 郷
仲田 博二他 和 歌
本堂衆報・本会記事

『懷徳』総目次

5号(昭2. 2)

懷徳堂創学二百周年
同 重建十周年 祭典並記念式
式次第
祝 辞

藤井健治郎 講演大意

狩野 直喜 //

服部字之吉 //

附録(遺書遺物展覽会陳列目録)

6号(昭2. 10)

永田理事長・松山教授 追悼録

永田理事長略歴・逝去と葬儀

松山教授略歴・逝去と葬儀

狩野直喜他36名 追悼文(12頁参照)

附録 故永田仁助先生述『偶感隨筆』

7号(昭4. 10)

武内 義雄 漢学研究法

財津 愛象 「于」「於」兩字の古音に就いて

故王 静安 最近二三十年中中国新発見の学
問

音代 節雄 雲林院の研究

貝田四郎兵衛 新撰姓氏録を読み

今西 茂喜 拙堂先生の楠氏研究

白井 久吉 齋宮必簡に於て

竹内 峰次 支那の祠廟

田中吉太郎 瞻仰微言

阪田 広吉 所 感

稲田 稷 鳳輦を迎へ奉りて

小松熊之助 奉迎式場所感

三輪 時雄 洛東遊記並詩

林田 炭翁 詩並歌

林田 良平 歌

寺部 君子 歌

内藤虎次郎 文学博士西村君墓表

吉田 鋭雄 碩園西村先生年譜
本堂記事

山本 樞信 本会記事

酒井全太郎 編輯を終りて

8号(昭5. 10)

秋月 胤繼 懷 徳

井上 通泰 我等の祖先の思想

牧 健二 日本国体と封建制度との関係

佐々木恒清 奈良時代の美術

音代 節雄 雲林院の研究

今西 茂喜 正儀公本来の面目

小沼 量平 知足の説

小沼 量平 丹波の山国紀行

藤塚誠二他2名 春季探勝会の記

鈴木 虎雄 詩

三輪 時雄 詩

林田 良平 歌

仲田 應弘 歌

本堂記事・本会記事

山本 樞信 編輯を終へて

内藤虎次郎 章学誠の史学

武内 義雄 易伝の道德思想

9号(昭6. 10)

小倉 正恒 卷頭言「卜而復興」

狩野 直喜 孝の話

内藤虎次郎 宋元版の話

秋月 胤繼 山崎闇斎と保科正之

野田 義夫 教育勅語と国民道德

鈴木 虎雄 草廬三顧の地の所在

林 森太郎 庖丁の故実につきて

中井 終子 安政以後の大阪学校

今井 貫一 新懷徳堂建設まで

『懷徳』総目次

牧 建二	現代歴史観の展望
小川 琢治	漢民族の成立に就て
武内 義雄	学書三昧
江崎 政忠	義公水戸光圀卿
勝木忠兵衛	偶 感
今西 茂喜	正儀公本来之面目(承前)
音代 節雄	雲林院の研究(承前)
成田 軍平	漢 詩
林田 安平	漢 詩
林田 良平	和 歌
仲田 應弘	和 歌
寺部 君子	和 歌
仲田應弘他3名	秋季探勝会の記
音代 節雄	桂, 修学院兩離宮拝観記 懷徳堂記事・堂友会記事
山本 楯信	編輯後記
10号(昭7. 10)	
服部字之吉	誠に就て
矢野 仁一	歴史上より見たる満州
中井木菟麻呂	己巳殘愁録
江崎 政忠	天保山は如何して出来たか
鈴木 虎雄	漢 詩
林田 炭翁	漢 詩
林田 良平	和 歌
仲田 應弘	和 歌
太田勘兵衛	嗚呼財津先生
貝田四郎兵衛	斑鳩巡り
仲田應弘他1名	豊公遺蹟踏査記 懷徳堂記事・本会記事 編纂を終りて
(財津桃溪先生遺稿)	
財津先生遺影及墨蹟附略歴	
財津 愛象	燉煌出土漢藏対音の材料と韻鏡 との比較

財津 愛象	唐代音と日本所伝音との比較
〃	楚辞と漢賦
〃	寶戒寛雜劇
〃	碑文一篇
〃	漢詩一首
〃	俳句十句
11号(昭8. 10)	
新城 新藏	陰陽五行説と現代の科学
江崎 政忠	後光明天皇の御事蹟に就て
大塚 末雄	浅見綱斎先生及び其の門流
中井木菟麻呂	懷徳堂遺物寄進の記
吉田 鋭雄	富永仲基の論語徵駁記
丸山正三郎	邦国兩字の異同及び推移に就て
秋月 胤繼	漢詩文(望金剛山記)
中井 天生	漢文(月前懷旧記)
岡山 源六	漢文(読酒語)
高瀬武次郎他4名	漢 詩
藤塚 紅果	俳 句
仲田 應弘	和 歌
白井文溪他2名	探勝会の記 懷徳堂記事・本会記事
山本 楯信	編輯を終へて
12号(昭9. 10)	
松本文三郎	支那に於ける印度音訳字の二三 に就て
中村 直勝	古社寺の行脚
武藤 長平	室町時代より江戸時代にかけて の漢学
岡山 源六	漢 文
秋月胤繼他1名	漢 詩
仲田 應弘	歌
仲田 應弘	久米田寺と開口神社へ 懷徳堂記事

『懷徳』総目次

山本 楯信 本会記事
酒井全太郎 編輯を終へて
内藤虎次郎 解脫上人の出られた家柄
狩野 直喜 内藤博士追憶談
小倉 正恒 内藤湖南先生を憶ふ
今井 貫一 内藤湖南先生を憶ふ
懷徳堂旧記
学問所建立記録
懷徳堂定約
懷徳堂定約附記
懷徳堂内事記
懷徳堂外事記

13号 (昭10. 10)

小西 重直 人間性
阪倉篤太郎 我が上古文学と漢学
石濱純太郎 富永謙斎先生伝考補
岡山 源六 漢文
鈴木虎雄他5名 漢詩
川田 順他1名 歌
藤塚 紅果 俳句
懷徳堂記事・本会記事
山本 楯信 編輯を終へて
吉田鋭雄(拾輯) 謙斎遺稿
懷徳堂旧記
学校公務記録
学問所来歴覚書
学問所謝儀等に就ての竹山意
見並定書
懷徳堂義金簿
御同志中相談覚
三宅幸藏変宅に付御同志中へ
懸合候覚
逸史献上記録
竹山先生遺状

14号 (昭11. 10)

狩野 直喜 孝治の話
新村 出 漢字漢語管見
源 豊宗 城崎の温泉寺と香住の応挙寺
岡山 源六 書道と学問
吉田 鋭雄 二十周年回顧の一端
稲田 稷 正倉院御物を拝観して感銘の教
々
秋月胤継他4名 漢詩
林田 良平 歌
白井文溪他5名 俳句

懷徳堂記事

酒井全太郎 堂友会記事
山本 楯信 編輯を終へて

懷徳堂旧記拾遺

懷徳堂文書六卷

学問所建立文書(上・下)

学校再建文書・大阪学校書

類・学校公務書類・衙尹御

入諸書

安政六年助成金証書四通 附逸

史板賃揚一札

義金助成金簿

懷徳堂記録拾遺

学問所再建書類・家名相続

願・中井履軒出立届・舒太

郎宗家家督証文並請書

15号 (昭12. 10)

武内 義雄 儒教の倫理観
作田 荘一 新史観の提唱
高瀬武次郎 川田雄琴先生事状
阪倉篤太郎 能楽鑑賞
中村 直勝 多田神社

鈴木虎雄他4名 漢 詩

音代 湘園 和 歌

山田平歩他4名 俳 句

重建二十周年記念式式辞と祝辞

懷徳堂記事

酒井全太郎 本会記事

山本 檐信 編輯を終へて

懷徳堂夜話

16号 (昭13. 10)

秋月 胤継 朱陸王三子の異同に就きて

荒木 俊馬 故新城新蔵博士と事変下の支那文化

高橋 俊乗 独逸の青年運動

音代 節雄 楠木正成の紀州経略

鈴木虎雄他3名 漢 詩

高田保馬他3名 和 歌

白井文溪他4名 俳 句

懷徳堂記事・堂友会記事

編輯を終へて

吉田鋭雄(録) 岡山源六息抱齋詩稿 (遺著)

17号 (昭14. 10)

時野谷常三郎 第一回日英同盟の成立とドイツ帝国

大江 文城 平安朝後期に於ける家外の経学

源 豊宗 三十三間堂

仲田 應弘 万葉集卷一抄

中井木菟麻呂 継水哉館称号告本支二家諸先生文

吉田 鋭雄 袖章記

武藤 甚他3名 詩

仲田應弘他1名 歌

入江来布他2名 俳 句

懷徳堂記事

酒井全太郎 堂友会記事

山本 檐信 編輯を終へて

吉田鋭雄(録) 懷徳堂水哉館遺書遺物目錄

18号 (昭15. 10)

鈴木 虎雄 朱子の白鹿洞書院について

中井 天生 石庵先生行状

澤瀉 久孝 余 情

中井 天生 楼居賦

大江 万里 鈴木無隠翁伝

秋月胤継他4名 漢 詩

音代節雄他1名 和 歌

入江来布他3名 俳 句

懷徳堂記事

酒井全太郎 堂友会記事

山本 檐信 編輯を終へて

吉田鋭雄(拾輯) 石庵先生遺稿

臨時増刊号 (昭16. 5)

狩野 直喜 所 感

小倉 正恒 紀元二千六百年奉祝式に際して

山本 檐信 紀元二千六百年奉祝式の記

19号 (昭16. 10)

秋月 胤継 皇道と儒道

中井 天生 鸞庵先生貽範家君行状

張 源祥 入声に就いて

中井 天生 金剛子念珠銘并序

吉田鋭雄他2名 漢 詩

音代節雄他2名 和 歌

入江来布他4名 俳 句

仲田應弘他2名 重建二十五年に際して

懷徳堂記事

酒井全太郎 堂友会記事

山本 檐信 編輯を終へて

『懷徳』総目次

吉田鋭雄(録) 嵯庵先生遺稿
吉田鋭雄(録) 懷徳堂所蔵懷徳堂先賢著述書目

20号(昭17. 10)

武内 義雄 懷徳堂の経学
羽倉 敬尚 懷徳堂遺聞
入江 来布 万年先生と来山翁
藤塚 誠二記 旧懷徳堂を聴く会
中井木菟麻呂他10名 文 藻
懷徳堂記事
記念祭並二十五周年記念式

酒井全太郎 堂友会記事
山本 楯信 編輯を終へて
老婆心

21号(昭18. 10)

澤瀉 久孝 古典と古語
羽倉 敬尚 并河二難事彙
入江 来布 芭蕉の二百五十年と大阪の文化
音代 節雄 誤解された西行法師の歌
秋月胤継他6名 文 藻
懷徳堂記事・本会記事
大田勘兵衛 故大久保侯爵告別式参列に就て
山本 楯信 編輯を終へて
懷徳堂堂友会会員名簿

22号(昭26. 10)

小倉 正恒 卷頭言
木村 英一 現代の学問と懷徳堂
藤 直幹 町人の文化
木村 英一 漢字文化の過去と現在
神田喜一郎 懷徳堂の文学
王静安先生を追想す(座談会)
武内 義雄 「懷徳」の復刊をきいて
彙 報

23号(昭27. 9)

桑田 六郎 上代東西海上交通史話
山田憲太郎 香料の源流
能田 忠亮 天文曆法により観たる東西文化
の比較
木南 卓一 慈雲尊者伝研究
彙 報

24号(昭28. 10)

阪倉篤太郎 能楽の詞章としての謡曲
小林太市郎 中国芸術学試論
神田喜一郎 竹山先生の文学
井上 翠 永根伍石について
懷徳堂回顧座談会
懷徳堂を思ふ
彙 報

25号(昭29. 10)

古武彌四郎 明治医学の一隅
澤瀉 久孝 「かからむとかねて知りせば」
張 源祥 中国古代の經濟倫理思想
清水 潔 一老荘思想家の著作と生涯一瞥
康に就いて一
黒江 一郎 李門公の文学
音代 節雄 淀川三十石船とくらわんか船
彙 報

26号(昭30. 10)

木村 英一 周易について
重澤 俊郎 春 秋
鈴木 虎雄 元遺山の史詩
高橋 盛孝 猿の生肝
八木 毅 契仲, 曼陀羅院・円珠庵
片山 長三 王仁塚

彙報（以下毎号省略）

懷徳堂堂友会會員名簿・会則

（以下毎号省略）

27号（昭31. 10）

- 橋本 循 王維の話
 鈴木 隆一 荀子の後王思想
 柳本 実 荀子に於ける存在論的思想の有無について
 岡崎 精郎 折箭盟誓考
 金杉 光子 鉄斎画讃
 仲田 応弘 雑録の一節

28号（昭32. 10）

- 小倉 正恒 巻頭言
 中田勇次郎 蘇東坡とその書
 桑田 六郎 仏教伝来文献に就いて
 木南 卓一 論語の朱子学的理解
 音代 湘園 万葉集「神之埼狭野」の試訓
 金杉 光子 絵画をもっともよく工芸した人（回想録）

- 小島 吉雄 懷徳堂と和学
 藤 直幹 懷徳堂の史学—中井竹山の『逸史』を中心として—
 時野谷 勝 天明・寛政期の懷徳堂（回想の懷徳堂）

- 小倉 正恒 懷徳堂に関する随想
 武内 義雄 懷徳堂の思ひ出
 鈴木 虎雄 懷徳堂に関する思出
 阪倉篤太郎 懷徳堂の思ひ出
 石濱純太郎 懷徳堂を思出して
 木村 英一 懷徳堂講座七ヶ年の成績を省みて

29号（昭33. 10）

- 木村 英一 孟子
 木南 卓一 北宋思想界の動向
 鈴木 喜一 文献による体験の再認識について—函式の問題—
 音代 湘園 万葉集「佐太の浦」考
 宮川 尚志 赤獅堂議論
 井口金次郎^他 堂友の雑録

30号（昭34. 10）

- 狩野直喜^{（遺稿）} 聖諭広訓に就いて（大正15年11月16日恒祭記念講演）
 鈴木 喜一 淮南子の論法に関する一考察
 木南 卓一 林良斎研究
 八木 毅 上代文学に仏教がどのやうに表出せられてゐるか
 音代 湘園 君が代啓蒙—古典的儀礼歌の超階級意識—
 羽倉 敬尚 鄙山医伯淡輪元潜行状
 伊藤 茂雄 偶感

31号（昭35. 10）

- 本田 濟 周易
 福永 光司 莊子
 木南 卓一 石田梅岩
 鈴木 喜一 荀子の礼の内面性に関する一考察

32号（昭36. 10）

- 清水 潔 韓愈の文学における諧諷とユーモア
 鈴木 隆一 王文成公全書の合刻について
 音代 節雄 河内百濟寺の仏舍利流伝
 一箭喜美子 似雲法師の生涯
 山口 秀樹 文永の役に神風は来なかった、という荒川理博の新説について

『懷徳』総目次

(随想)

- 伊藤 茂雄 思ひおこすことども
川尻 進 おもいおこすことども
綿谷 善平 折々のうた
愚老 山人 狂 歌

33号(昭37. 10)

- 木村 英一 大学と中庸
大月 明 懷徳堂創設期の人々—三宅石庵
と中井甃庵—
鈴木 喜一 論語に於ける人間形成の出発点
岡崎 精郎 ニコライ・A・ネフスキ氏の業
績と生涯

(前理事長小倉正恒翁追憶録)

- 鈴木 虎雄 詩(小倉簡斎輓章二首)
今村 荒男 小倉さんを思ふ
神田喜一郎 小倉簡斎先生を思ふ
貝塚 茂樹 追 憶
吉川幸次郎 簡斎尚書を弔う
藤 直幹 先生の思い出
音代 節雄 小倉正恒翁を憶ふ
岡野 廉平 敬弔小倉理事長
木村 英一 小倉前理事長を憶ふ

34号(昭38. 10)

- 鈴木 隆一 四庫分類の歴史
田中 裕 風姿花伝
鈴木 喜一 絵事後素考—漢宋両学の批判
羽倉 敬尚 懷徳堂と医学また医家
岡崎 精郎 「ニコライ・A・ネフスキ氏の
業績と生涯」補遺
川尻 進 宗教の心のはたらき

35号(昭39. 10)

- 野村 茂夫 五服・九州説の展開

- 水原 渭江 忘れられた上方の填詞作家につ
いて
坂出 祥伸 魏源思想試論
加地 伸行 曾子と《曾子》学派—孝哲学史
研究その二—

36号(昭40. 10)

- 後醍院良正 若き日の天囚—西村先生誕百年
に因んで—
鈴木 隆一 新美寛氏の追憶
木村 英一 経書の成り立ち
水原 渭江 近代上方における二人の漢詩作
家—磯野秋渚・芝川紫草—
加地 伸行 韓非子における矛盾説話

37号(昭41. 10)

- 木村 英一 懷徳五十年
(追思のよすが)
羽倉 敬尚 懷徳堂師儒四家の系図
西村天囚(述) 五井蘭州
木崎好尚(述) 篠崎小竹
後醍院良正 続・若き日の天囚
金谷 治 誼卿武内義雄先生の学問
(回顧録)

- 橋本 循 西村天囚先生のことども
神田喜一郎 西村碩園先生の思ひ出
内藤 乾吉 父の少壮時に関する資料
中川 幸三 一聴講生に映じた松山先生の憶
ひ出
森三樹三郎 財津愛象先生の思い出
外山 軍治 あのころの懷徳堂
高木 正一 吉田鋭雄先生を憶う
盾井 宗一 故吉田先生の裏話
山村 太郎 今井館長と上松老人のこと
香川 修一 懷徳堂の思い出

『懐徳』総目次

岡野 廉平	懐徳堂の追想
藤塚誠二他7名	堂友の断想雑録
山口正男(編)	阪倉先生を囲んで
酒井全太郎他3名	京都北白川に源先生をお訪ねして
井 上他13名	堂友会座談会 (論叢)
神楽岡昌俊	仲長統の思想
松代 尚江	孔子—その礼説を中心とする一考察—
長谷 完治	良寛の短歌について
	38号(昭42. 10)
澤瀉 久敬	生命と精神(開講五十周年記念講演)
	(学校・教育談話)
時野谷 勝	近代的学校教育の萌芽
梅溪 昇	学問・教育の明治百年
豊田 堯	ヨーロッパにおける市民教育の起源
木村 英一	中国における学校の起源
大西 晴隆	復性書について
松代 尚江	荀子の礼説—その社会政治思想的意義からみた一考察—
	39号(昭43. 10)
黄 錦紘	魏晋之莊学
大西 晴隆	太極図・説成立考
神楽岡昌俊	後漢の党錮
宮内 徳雄	山片蟠桃と多田義俊—愛日文庫蔵書をめぐって—
	40号(昭44. 10)
鈴木 喜一	私の孔子論
神楽岡昌俊	「孫子」の思想

水原 渭江	近世上方の文芸についての管見
北村 学	藤井竹外略伝
宮内 徳雄	山片蟠桃の「草稿抄」
羽倉 敬尚	懐徳堂と独創科学者麻田剛立
	41号(昭45. 10)
羽倉 敬尚	懐徳堂回顧録
桜井武次郎	俳人泉石としての三宅石庵
松原 秀明	金毘羅別家木村家の人人
山口 正男	多松堂設立に関与した木村寸木について—臨地見学会前後の経緯より—
橋本 高勝	天罰から人怨へ
岩佐 昌暉	〈黄老〉派の輪郭—道家学派成立史試論—
	42号(昭47. 10)
羽倉 敬尚	懐徳堂師儒三宅・中井二家系図の訂正
村田忠兵衛	大壺石浜純太郎先生・人と生涯—特に大阪人として—
梅溪 昇	懐徳堂本「昌平饗書生寮姓名録」の公刊にあたって・書生寮姓名録弘化丙午以来・姓名索引・主人名備考・藩名備考
	43号(昭48. 10)
木村 英一	論語に現われた信の概念について
梅溪 昇	「懐徳堂本昌平饗書生寮姓名録の公刊にあたって」の補正
羽倉 敬尚	大坂の草わけ国学者下河辺長流と懐徳堂
	44号(昭49. 10)

『懐徳』総目次

- 羽倉 敬尚 中井木菟麿翁の業歴一旧教聖書及び正教聖典の翻譯に献身尽力一
- 羽倉 敬尚 前号「下河辺長流と懐徳堂」の追記
- 石濱純太郎 吉田北山先生
- 塘 耕次 名の意識より見た春秋大夫一特に戦国士人のそれと比較して一
- 木村 英一 (紹介) 中国語のすすめ
- 中屋 成彬 日本の学生に中国語の勉強をすすめたい
- 澤 美枝他 (見学会) 近江地方第二回見学記その他
- 45号 (昭50. 10)
- 田中 健二 「学び」と「問い」ードイツ文学の視点からー
- 吉田 晋 故父吉田北山について
- 北村 良和 周公と尚書の展開一周の東方性について一
- 酒井全太郎 呉山社と吉田先生
- 木村 英一 岡野廉平翁を送る
- 46号 (昭51. 10)
- 池上 禎造 漢字と日本の固有名詞
- 羽倉 敬尚 下河辺長流碑の修復再建
- 羽倉 敬尚 中井氏先代玄端墓の発見
- 塘 耕次 虞世南一その書と人一
- 藤塚 誠二 堂友会夏季見学会記
- 大路とし子 色褪せた華鬘一葛川紀行一
- 47号 (昭52. 10)
- 吉田 鋭雄 北京の書舗 (遺稿)
- 羽倉 敬尚 文蒙頼山陽の賢母静子梅颯夫人の実家篠田家の墓

- 北村 良和 孟子の作俑について
- 中川 幸三 酒井君を偲びて
- 大路とし子 湖北の旅一観音像にみる朱の唇一
- 栗生 照子 近江路見学の記
- 48号 (昭53. 10)
- 橋本 高勝 有物有則の解釈について
- 串田 久治 仲長統の思想
- 中川 幸三 呉山社と酒井君
- 中川幸三(編) 鳴谷遺稿
- 野々村富二良 若狭の国の仏たち
- 鳩 遠江 若狭の古社寺巡礼
- 三原辰之助 夏期一泊見学会の記一七月二十一日・二十三日一
- 49号 (昭54. 10)
- 黄 錦鉉 關於莊子「情」与「礼」的研究
- 武藤 博久
- 大川 俊隆 } 銀雀山漢墓竹簡《孫子》校訂
- 野間 和則 }
- 今川 せい (吉田先生と素読)素読の思い出
- 今川 ふさ 素読の思い出
- 鳩 遠江 近江を探ねる
- 50号 (昭55. 10)
- 木村 英一 懐徳堂先賢の業績と遺品との蒐集・整理・保存に関する近況について
- 范 月嬌 中井竹山の詩についての覚書
- 宇野 茂樹 堂友会年例見学会の案内記 (口述筆記)
- 鳩 遠江 かくれ里と湖上の旅一その随想一